

第3回 新庁舎整備に関するワークショップ 開催レポート

第3回 新庁舎整備に関するワークショップを開催しました！第1回、第2回の成果を振り返りながらワークを実施。各テーブルで集大成となる想いの詰まったシートが完成しました！最後は舞台上がり、大西市長も交え、対話形式で発表を行いました。

第1回

2025年
6月15日(日)
午後1時~3時



まちなか庁舎を語ろう！

第2回

2025年
7月6日(日)
午後1時~3時



新庁舎をどう使う!?

第3回

2025年
8月3日(日)
午後1時~3時



新庁舎の未来を思い描く!

新庁舎をいかに作るか、みんなの“未来”を思い描きます。

会場 市民会館シアーズホーム 夢ホール 大会議室

参加者 24名 (市民公募)

ゲスト 大西一史 市長

ファシリテーター

星野裕司様 (熊本大学景観デザイン研究室教授)

山下裕子様 (まちなか広場研究所主宰)

意見交換

これまでの成果を振り返りながら、本庁舎・区役所それぞれの市民利用スペースの役割を考えました。その役割や建物の構成(1,2階、中間階、屋上等)、立地特性等を踏まえ、市民利用スペースに必要な空間・機能について話し合い、意見をまとめました。

テーマ① 市民利用スペースの役割

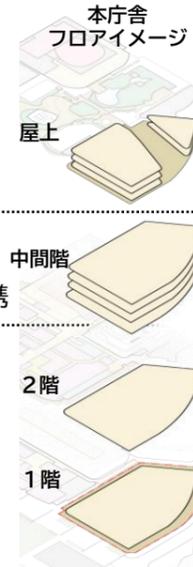
本庁舎	区役所
<ul style="list-style-type: none"> 皆が楽しめる憩いの場 夜間も使えるスペース いつでも使える7/7※ 防災に役立つ ネーミングで親しみやすく 観光の拠点 情報の発信と受信(歴史・文化・地理・まちでの活動) 集い・交流の場 フレキシブルに使える 敷居が低い 熊本に来た人に文化歴史を発信し交流できる 何かしたい人を後押しする(観光・市民活動・企業スタートアップ等) 熊本愛(誇り)シビックプライドを育む場所(むかえ入れる本庁舎) 	<ul style="list-style-type: none"> 区民が憩う交流スペース 観光案内・長堀通りから本庁舎方向の回遊性をつくる 市民が話し合い活動を行える場 機能を特化させる 地元住民が情報・学びを得る 地元(区)の人達の交流や情報を発信 熊本LIFEをエンジョイする場所(つつみ込む区役所)



※7日間(1週間)のうち、7日間(=毎日)使えるという意味

テーマ② 市民利用スペースに必要な空間・機能

本庁舎	共通で出た意見	区役所
屋上部 <ul style="list-style-type: none"> こどもの遊び場 カフェ(夜も営業) サクラマチと接続 銭湯(災害時も) ヘリポート 自習スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 展望スペース(熊本城) 屋上庭園 	<ul style="list-style-type: none"> 屋根付きスペース 休憩スペース 会議室
中層部 <ul style="list-style-type: none"> サクラマチと接続 待ち時間を楽しく 行政サービスと市民が連携 	<ul style="list-style-type: none"> 自習スペース 情報発信スペース コンシェルジュ(各種案内) 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの遊び場 コワーキングスペース 会議室
低層部 <ul style="list-style-type: none"> こどもの遊び場 水を感じる フリースペース コワーキングスペース カフェ 会議室 シャワー(災害時も) 展示ギャラリー サクラマチと接続 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信スペース 商業利用スペース 休憩スペース オープンスペース(屋根付き) クーリングシェルター 自習スペース 図書 	<ul style="list-style-type: none"> 多方向に出入口 多目的活動スペース 長堀通りとのつながり 多世代憩いの場 ドライブスルー手続き 市場(マルシェ) ホワイトボードの壁 駐車場(障がい者用) チャレンジショップ



発表

参加者の皆さんと大西市長、星野教授、山下様とのやりとりは、さながらパネルディスカッションのようでした！時間を少々オーバーしてしまうほどの盛り上がりを見せた意見交換から、一部になりますがいりりの様子をご紹介します。

区役所は区民のためのスペースとしてコミュニティを育む場としたいです

防災や環境に配慮しいつでも・隅々まで使える空間にしたいです

あらゆる人がアクセスしやすい場所になるよう“面”でまちづくりを考えていきます

特徴の異なる本庁舎と区役所をセットで計画できる貴重な機会です

これまで議論を積み重ねてきた成果が表れていますね

つくり込みすぎずカスタマイズできる余白を持たせることが大事だと思います

長堀通りを活かした区役所から本庁舎への回遊や商店街への東西の回遊ができるとうれしいです

みんなのアイデアや提案が集まる場所にしたいですね

本庁舎の愛称を親しみやすいものにしてはどうでしょうか

市外からも多くの人に訪れてもらう場所になることで、シビックプライド(熊本愛)が育まれると思います

HP等での市政の情報発信だけでなく、市民と市政、双方向のやりとりができる場が必要だと思います

コンセプトにつながるようなキーワードを沢山頂きました

まちの中で沢山の人が交わる場所=『辻』にあって、気軽に立ち寄りあえる、役所らしくない場を目指したい

今日のことを身近な人に話して関心の輪を広げていきましょう！

★ 新庁舎整備のスケジュールにおけるワークショップの位置づけ



・新庁舎整備の各フェーズごとに、様々な手法で市民の皆様への情報発信と意見聴取を行います。
 ・R7年度の基本計画フェーズでは、今回のワークショップの他、オープンハウス、市民アンケート等を実施しています。
 ・皆様からいただいたご意見を基に、新庁舎整備について検討を進めていきます。